

# 経済透視図

117

## 手術支援ロボの浸透

し、手術精度の向上と縮にもつながる。

ともに出血を抑えられ 整形外科領域におい

る。患部組織以外への には、人工関節置換術

ダメージを最小化する を対象にロボット支援

ことから周辺組織にお 下手術が浸透してきて

ける機能温存の可能性 いる。米ストライカー

も高まる。患者の回復 製の手術支援システム

も早く、入院期間の短 「メイコーシステ

「メイコーシステ

ム、米シンマー・バ はロボット制御により

イオメットの「ROS はほとんど解決される。

A Kneeシステ 患者の骨・関節の状

ム」などが挙げられ 態に応じた正確な骨切

り、細かな関節バラ 器の欠点である日本人

画質化、センシング技

置可能場所が限定的で 制御のさらなる高度

あるという課題を解決 化、人工知能(AI)

する。 画像判定による執刀ナ

リバーフィールド ビゲーシオン機能の搭

（東京都港区）が展開 載などが期待される。

する「Saroa(サ また、国内において

「ロア」は、従来の口 は、遠隔地の病院から

ロボット手術の泣きどこ 第5世代通信(5G)

ろである「触覚がな 回線を通じて違う病院

い」という欠点を、空 のロボットを動かす実

証実験が進んでいる。 証実験が進んでいる。

力覚を伝える製品だ。 医師の局在の課題解

「hinotori ヨニングで市場開拓を の向上も期待されよ

ぎや削り残しが指摘さ (ヒノトリ) サージカ 狙っている。

れていたが、この問題 ルロボットシステム」 手術支援ロボットは (隔週水曜日に掲載)

近年、手術をより正 んでいる。

確かつ効率的に行うた ロボット手術の浸透

めの支援を目的とした が加速している最大の

ロボティクス技術が発 理由は、患者への低侵

展している。 襲性と術後の生活の質

（QOL）の向上であ

いては、米インテュイ

タイプ・サージカルの ロボット手術は手の

「ダヴィンチ」が先行 代わりに太さ8ミリの程

する。日本では200 度の鉗子(かんし)を

9年に薬事承認を取得 挿入するため、患者は

して以降、診療報酬改 開腹する必要がなく、

定毎に対象となる疾患 腹部に数カ所の1センチ

・術式が広がっており 程度の小さな穴を開け

り、国内においても7 るだけで済む。

00台以上(24年1月 鉗子は正確な切開・

時点)にまで導入が進 迅速な縫合を可能と

る。



SMB C日興証券  
プライベート・  
キャピタル・  
ソリユーション室  
高橋 政治

## 低侵襲性とQOL向上

確な骨切りをナビゲー

シオンする。

医師の手による従来

の手法では、手振れな

どの影響による削り過

ぎや削り残しが指摘さ

れていたが、この問題

ルロボットシステム」

無断転載・複写禁止